

学則の変更の趣旨等を記載した書類

(京都工芸繊維大学工芸科学部情報工学課程)

目次

(1) 学則変更(収容定員変更)の内容	2
(2) 学則変更(収容定員変更)の必要性	2
(3) 学則変更(収容定員変更)に伴う教育課程の変更内容	3
(4) 教育課程等の概要	5

ア 学則変更(収容定員変更)の内容

京都工芸繊維大学（以下「本学」）は、令和 9 年度から工芸科学部情報工学課程の入学定員を 10 名増員する。完成年度である令和 12 年度の収容定員は、284 名（40 名増）となる。

入学定員（令和 9 年度）

組織名	入学定員 (変更前)	入学定員 (変更後)	備考
工芸科学部情報工学課程	61 名	71 名	10 名増

収容定員（完成年度（令和 12 年度））

組織名	収容定員 (変更前)	収容定員 (変更後)	備考
工芸科学部情報工学課程	244 名	284 名	40 名増

イ 学則変更(収容定員変更)の必要性

デジタルやグリーンなどの成長分野をけん引する高度情報人材の育成・輩出は、喫緊の課題である。これに伴い、その中核を担う大学および高等専門学校（高専）の機能強化が強く求められている。

大学の学部段階における理系分野の学位取得の割合は現在 35%にとどまっているほか、理工系分野の入学者の割合についても 17%にとどまっており、どちらの割合も諸外国と比べて低い状況にある。（文部科学省 大学・高専機能強化支援事業の創設について（令和 5 年 4 月）より引用）。さらに、社会経済情勢の変化、技術開発の動向等については、生産性や利便性を飛躍的に高めるデジタルトランスフォーメーション（DX）の推進が産業、教育、行政等のあらゆる分野においてもとめられている一方、2030 年には先端 IT 人材が 50 万人以上不足するという調査結果（文部科学省 大学・高専機能強化支援事業の創設について（令和 5 年 4 月）、経済産業省委託調査「IT 人材受給に関する調査（みずほ情報総研株式会社）（2019 年 3 月）」より引用）もある。

経済産業省においても、令和 3 年から「デジタル時代の人材政策に関する検討会」を置き、新たな時代に即したデジタル人材政策の方向性について検討が進められていることである。

また、科学の再興に向けた提言（2025（令和7）年11月18日 科学の再興に関する有識者会議）において、日本全体の AI for Science についてスピード感をもって戦略的に推進することが求められており、AI for Science の推進のためには、AI 関連人材の育成が求められている。

本学では、これらの需要に応えるため、大学院博士前期課程情報工学専攻の定員を、令和9年度に11名増行い、更に令和13年度に8名増と定員を拡充する予定である。

上記のとおり、高度情報人材育成を目的に定員を経過的に増加する予定であるため、この度の情報工学課程の定員を増加する旨の学則変更（収容定員変更）を行うものである。

ウ 学則変更(収容定員変更)に伴う教育課程の変更内容

(ア)情報工学課程に係る教育課程の内容

情報工学課程に係る教育課程については、現在の課程からの変更はない。

1年次には、専門導入科目として少人数討論を行う『情報工学セミナー』を前期に配置し、基礎科目である『情報工学概論』『プログラミングⅠ』等のほか、専門の基礎となる数学（解析学、線形代数学等）を履修し、専門知識の土台を築く。

2年次から3年次にかけては、『プログラミングⅡ』や『ネットワークプログラミング』などの発展的な科目を必修とし、段階的に技術を深める。また、実験科目『プロジェクト実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ』を必修として、チームでの対話や探究を通じ、ディプロマ・ポリシーに掲げる実践的能力を系統的に修得する。

4年次には研究室に所属し、卒業研究に着手。自ら設定したテーマに対し、教員の指導のもとで問題発見から解決に至る自律的な研究能力を身につける。

(イ)教育方法及び履修指導方法の変更内容

教育方法などについても、現在から大きく変わることはない。従前から、高度な専門力を身につけた人材を育成するため、博士前期課程までの6年間を見通した本学独自のカリキュラム制度3×3（スリー・バイ・スリー）を実施しており、高度情報専門人材の育成に貢献する。

情報工学課程では、現代社会の基盤である ICT の最新技術を理論・実践の両面から

修得し、国際社会で活躍できる技術者の育成を目指している。

カリキュラムは、システムの設計・構築を担う『コンピュータ工学（CE）』と、未知の応用分野を切り拓く『コンピュータ科学（CS）』の両領域を網羅し、さらに講義と実験・演習を密接に連携させ、理論と実践的技法のバランスを重視した教育を展開している。

これらの教育研究活動を通じ、専門的な知識・技術の修得はもちろん、社会の変化に即応できる情報分析力、他者との協働に不可欠なコミュニケーション能力、そして高い倫理観を備えた技術者を輩出する。

(ウ)教員組織の変更内容

定員変更前の学生/教員比率である S/T 比率は、9.3（244 名（収容定員）/26 名）であり、教育の質を保証するのに十分な教員が配置されている。変更後の S/T 比は 10.9（284 名（収容定員）/26 名）となり、現状と同程度を保つことができる。

今後、実務教員の教員を採用するなど、更なる教員の増員を予定している。

(エ)大学全体の施設・整備の変更内容

定員変更による大学全体としての施設・設備等の変更はない。本学の学生数は大学院を含めるとおおよそ 4,000 人程度であり、増加入学定員 10 名は全体の 0.25%程度である。そのため、大学全体の施設・整備に対する定員増による影響は少ない。

教 育 課 程 等 の 概 要																
（工芸科学部情報工学課程）																
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外 の教員	
全学 共通科目	英語教育科目	Interactive English A	1前		1			○				1			4	クラス分け
		Interactive English B	1後		1			○				1			4	クラス分け
		Career English Basic	1前		1			○			1				2	クラス分け
		Academic English	1後		1			○		1	1				2	クラス分け
		English for Sciences and Humanities A	2前		2		○	○		1	1				1	クラス分け
		English for Sciences and Humanities B	2後		2		○	○		1	1				1	クラス分け
		小計（6科目）	—	—	8	0	0	—		3	4	2	0	0	14	
基盤 教養科目	人と文化	哲学	1前			2		○		1						
		比較宗教学	1前			2		○							1	
		宗教と文化	2後			2		○							1	
		日本史	1後			2		○							1	
		東西文化交流史	1後			2		○							1	
		アジアの歴史と文化	1前			2		○							1	
		ヨーロッパの歴史と文化	1後			2		○							1	
		科学技術の人間学	1後			2		○		1						
		ラテン語	1後			2		○							1	
		西洋文化論	1後			2		○							1	
		日本近現代文学	1後			2		○							1	
		西洋文学論	1前			2		○							1	
		美と芸術	1前			2		○							1	
		日本近代精神史	1後			2		○		1						
		フランス語圏の文化とジャポニスム	2前			2		○		1						
		医療人類学	1前			2		○							1	
		認知心理学	1前			2		○							1	
		京都の歴史Ⅰ	1前			2		○							1	
		京都の歴史Ⅱ	1後			2		○							1	
		京都の文学Ⅰ	1前			2		○							1	
		京都の文学Ⅱ	1後			2		○							1	
		京の意匠	1後			2		○			1				1	オムニバス
		京都の文化と文化財	1後			2		○							1	
		現代イスラーム世界の文化と社会 （リベラルアーツ・ゼミナール）	1前			1		○							1	
		感性の実践哲学（リベラルアーツ・ゼミナール）	1前			1		○							1	
		資料で京都（リベラルアーツ・ゼミナール）	2前			1		○							1	
		現代正義論（リベラルアーツ・ゼミナール）	1後			2		○							1	
		禅と世界文化	1前・後			2		○							1	クラス分け
		文化財学	2前			2		○		1	1	1				オムニバス
		日本語と日本文化Ⅰ	2前			2		○		1						留学生のみ、隔年
		日本語と日本文化Ⅱ	2後			2		○		1						留学生のみ、隔年
		小計（31科目）	—	—	0	59	0	—		7	2	1	0	0	24	
人 と 社 会	社会学Ⅰ	1前				2		○							1	
	社会学Ⅱ	1後				2		○							1	
	政治学	1後				2		○							1	
	国際政治	1前				2		○							1	
	経済学入門	1後				2		○							1	
	法学	1前				2		○					1			
	医療と社会	1前				2		○							1	
	生活と経済	1後				2		○							1	
	こころの科学	1前				2		○		2						オムニバス
	発達心理学	1前				2		○							1	

		現代社会と心	1後			2		○							1	
		現代社会とジェンダー	1前			2		○							1	
		現代教育論	1前			2		○							1	
		環境と法	1後			2		○							1	
		現代医療の人間観	1後			2		○							1	
		食ブランディング論	1前			2		○							1	
		京都学講座（人間と社会）	1前			2		○							1	
		京の産業技術史	1前			2		○							1	
		現代京都論	1前			2		○							1	
		現代社会に学ぶ問う力・書く力（リベラルアーツ・ゼミナール）	1前			2		○	○						1	
		社会科学の学び方（リベラルアーツ・ゼミナール）	1後			2		○	○						1	
		世界はいま（リベラルアーツ・ゼミナール）	1前			1		○	○						1	
		時事問題で学ぶファシリテーション（リベラルアーツ・ゼミナール）	1前			2		○	○						1	
		マーケティング入門（リベラルアーツ・ゼミナール）	2前			2		○	○						1	
		プレゼンテーション力とは（リベラルアーツ・ゼミナール）	1後			2		○	○						1	
		憲法	1後			2		○					1			
		経済学	2前			2		○							1	
		小計（27科目）	—	—	0	53	0	—			2	0	0	2	0	24
人と自然	人間生物学	2後			2			○							1	
	化学概論Ⅰ	1前			2			○							1	
	化学概論Ⅱ	1後			2			○							1	
	生物学概論Ⅰ	1前			2			○							1	
	生物学概論Ⅱ	1後			2			○							1	
	生命科学講話	1前			2			○							1	
	人と自然と数学αⅠ	1①			1			○			1					
	人と自然と数学αⅡ	1②			1			○			1					
	人と自然と数学β	1後			2			○			1					
	生物学的人間学	1前			2			○							1	
	科学史	1前			2			○							1	
	環境問題と持続可能な社会	1前			2			○							1	
	食と健康の科学	1前			2			○							1	
	キャンパスヘルス概論	1前			2			○			1					
	エネルギー科学	1前			2			○							1	
	現代科学と倫理	1前			2			○							1	
	医学概論Ⅰ	1③			1			○							1	
	医学概論Ⅱ	1④			1			○							1	
	やさしい看護学	1前			1			○	○						1	
	京都の農林業	1後			2			○							1	
	京都の防災と府民	1後			2			○			1	1			5	オムニバス
	京都の自然	1前			2			○							1	
	光と色彩のサイエンス	1前			2			○							1	
	製品の機能から科学を学ぶ（リベラルアーツ・ゼミナール）	1前			2			○	○						1	
	意外と知らない植物の世界（リベラルアーツ・ゼミナール）	1後			2			○				1		1	4	オムニバス
	レーザで測る、創る、楽しむ（リベラルアーツ・ゼミナール）	1前			2			○	○						1	
	小計（26科目）	—	—	0	47	0	—				5	2	0	1	0	29
実践教養科目	キャリア・技術者基盤	1①			1			○			15	2			1	オムニバス
	キャリア教育基礎	1②			1			○			3				1	オムニバス
	学習・キャリア戦略論	1後			2			○	○		1					
	情報セキュリティと情報倫理	1後			2			○			1	1		1		
	生命倫理と環境倫理	1前			2			○			1					
	地球環境論	1前			2			○				1		1		
	人権教育	1後			2			○							1	
	京の知恵 伝統産業の先進的ものづくり	2後			2			○							1	
	小計（8科目）	—	—	0	14	0	—				21	4	0	2	0	4
リーダーシップ	リーダーシップ基礎Ⅰ	1前			2			○	○						2	クラス分け
	～関係性を築く対話の技術															
	リーダーシップ基礎Ⅱ	2前			2			○	○						2	クラス分け
	～未来をつくる共創の技術															
	リーダーシップ実践Ⅰ	1後			2			○	○						2	クラス分け
	～半径50mのSDGs実践															

と経営戦略	リーダーシップ実践Ⅱ ～京都市のSDGs実践	2後			2		○	○						2	クラス分け
	知的財産経営論	1前			2		○							2	クラス分け
	デザインとブランド	2後			2		○							1	
	プロジェクトマネジメント入門	1後			2		○							1	
	企業金融入門	1前			2		○							1	
	アントレプレナーシップ概論	2前			2		○				1				
	小計（9科目）	—	—	0	18	0	—	—	—	0	1	0	0	0	13
心身の健康	大学生生活とメンタルヘルス	1②			1		○			1					
	コミュニケーションの心理学	1①			1		○	○		1					
	健康体力科学	1前			2		○				1			1	共同
	生体行動科学A	1③			1		○			1			1		共同
	生体行動科学B	1④			1		○			1			1		共同
	スポーツ科学Ⅰ	1前			2					1				3	共同
	スポーツ科学Ⅱ	1後			2					1				3	共同
	生涯スポーツ	2前・後			2						1			2	クラス分け・共同
	小計（8科目）	—	—	0	12	0	—	—	—	6	2	0	2	0	9
セミナー・プロジェクト科目	大学導入セミナー	1①			1		○	○		3	1				
	実践問題解決セミナー	1②			1		○	○		2					
	健康と地域探訪セミナー	1③			1		○	○		1	1		1		
	パフォーマンス分析セミナー	1④			1		○	○		1	1		1		
	質問調査法セミナー	1③			1		○	○		2					共同
	実験心理学セミナー	1④			1		○	○			1				
	国際理解	1前・後			1			○		1					クラス分け
	地域連携プロジェクトⅠ	1前			1			○		1	2				共同
	地域連携プロジェクトⅡ	2前			2			○		1	1				共同
	小計（9科目）	—	—	0	10	0	—	—	—	12	7	0	2	0	0
言語・コミュニケーション	異文化コミュニケーション	1前			1		○							1	
	ビジネス英語	1前			2		○							1	
	TOEIC対策講座Ⅰ	1後			2		○	○		1				1	クラス分け
	社会文化概説（アメリカ）Ⅰ	1前			2		○			1					
	社会文化概説（アメリカ）Ⅱ	1後			2		○			1					
	KIT短期海外英語研修a	1前			2				○		2				共同
	KIT短期海外英語研修b	1後			2				○	1	1				共同
	ドイツ語ⅠA（初級）	1前			2		○	○						7	クラス分け
	ドイツ語ⅠB（初級）	1後			2		○	○						7	クラス分け
	ドイツ語ⅡA（中級）	2前			2		○	○						2	クラス分け
	ドイツ語ⅡB（中級）	2後			2		○	○						2	クラス分け
	フランス語ⅠA（初級）	1前			2		○	○		1				2	クラス分け
	フランス語ⅠB（初級）	1後			2		○	○		1				2	クラス分け
	フランス語ⅡA（中級）	2前			2		○	○		1				1	クラス分け
	フランス語ⅡB（中級）	2後			2		○	○		1				1	クラス分け
	中国語ⅠA（初級）	1前			2		○	○						4	クラス分け
	中国語ⅠB（初級）	1後			2		○	○						4	クラス分け
	中国語ⅡA（中級）	2前			2		○	○						1	クラス分け
	中国語ⅡB（中級）	2後			2		○	○						1	クラス分け
	日本語Ⅰ	1前			1			○						1	留学生のみ
	日本語Ⅱ	1後			1			○						1	留学生のみ
	日本語Ⅲ	1前			1			○			1				留学生のみ
	日本語Ⅳ	1後			1			○			1				留学生のみ
	日本語Ⅴ	2前			1			○						1	留学生のみ
	日本語Ⅵ	2後			1			○						1	留学生のみ
	小計（25科目）	—	—	0	43	0	—	—	—	8	5	0	0	0	41
高年次配当科目	ものづくりと生命物質科学	3前			2		○			9	3		1		
	ものづくりとデザイン科学	3後			2		○			16	20		7		
	環境マネジメント	3前			1		○				1				
	ビジネスと知的財産活用	3後			2		○							1	
	ベンチャー企業経営学	3後			2		○							1	
	人と運動（教養セミナー）	3後			1		○	○			1			1	隔年
	科学と宗教（教養セミナー）	3前			1		○	○		1			1		オムニバス
	人と環境（教養セミナー）	3後			1		○	○			1			1	隔年
	ポスト・グローバル化社会を生きる（教養セミナー）	3前			1		○	○		1					
	科学技術と社会（教養セミナー）	3後			1		○	○		1					
	社会と経済（教養セミナー）	3後			1		○	○		1			1		オムニバス・隔年
	教育と社会（教養セミナー）	3後			1		○	○			1				隔年

		テキストと社会（教養セミナー）	3後			1		○	○		1						オムニバス オムニバス、地 域創生Tech Programのみ
		ジェンダーと文化（教養セミナー）	3前			1		○	○		1						
		科学と哲学（教養セミナー）	3後			1		○	○		1						
		京のまち	3後			2		○			1	2		1			
		科学技術と地域社会	3後			2		○			2						
		身体運動のバイオメカニクスA	3①			1		○	○		1						
		身体運動のバイオメカニクスB	3②			1		○	○		1						
		生体行動科学特論A	3③			1		○	○		1						
		生体行動科学特論B	3④			1		○	○		1						
		映画で学ぶ英語と文化	3後			2		○								1	
		映画で学ぶドイツ語と文化	3前			2		○								1	
		英語で京都	3後			2		○								1	
		TOEIC 対策講座Ⅱ	3後			2		○	○		1						
		セミナー・プロジェクト（PBL/CLIL）	3前			2		○	○		2						クラス分け
		ドイツ語（文化・文学・思想）A	3前			2		○	○							1	
		ドイツ語（文化・文学・思想）B	3後			2		○	○							1	
		フランス語（文化・文学・思想）A	3前			2		○	○		1						
		フランス語（文化・文学・思想）B	3後			2		○	○		1						
		国際連携プロジェクトⅠ	4前・後			1			○		2						共同 共同
		国際連携プロジェクトⅡ	4前・後			2			○		2						
		小計（32科目）	—	—	0	48	0	—	—		48	29	0	9	2	9	
専門 教育科目	専門 導入 科目	情報工学セミナー	1前		2			○			9	9		4		2	オムニバス
		情報工学概論	1前		2			○	○			1		1			
		地域課題導入セミナーⅠ	1前		1				○		1	2					共同、地域創生 Tech Programの み 共同、地域創生 Tech Programの み
		地域課題導入セミナーⅡ	2前		2				○		1	2					
		小計（4科目）	—	—	5	2	0	—	—		11	14	0	5	0	2	
専門 基礎 科目	数学	基礎解析Ⅰ	1前・後		2			○						1		1	クラス分け
		基礎解析Ⅱ	1後		2			○								1	
		線形代数学Ⅰ	1前・後		2			○								2	クラス分け
		線形代数学Ⅱ	2後		2			○								1	
		数学演習Ⅰ	1前・後		2			○	○				1			1	クラス分け
		数学演習Ⅱ	1後		2			○	○							1	
		解析学Ⅰ	2前		2			○				1					クラス分け
		解析学Ⅱ	2後		2			○								1	
		統計数理	2前		2			○					1				
		応用解析	2前		2			○			2						
		応用幾何	2後		2			○								1	
		数理解析	2後		2			○			1						
		応用数理	3前		2			○			1						
		数理応用代数	3後		2			○			1						
		数理応用幾何	4後		2			○			1						
		数理応用解析	4後		2			○			1						
		データサイエンスの数理	4後		2			○			1						
		小計（17科目）	—	—	0	34	0	—	—		8	1	0	3	0	9	
	物理 学	物理学Ⅰ	1前		2			○			1						共同
		物理学Ⅱ	1後		2			○						1			
		物理学実験法及び基礎実験	2①・②	1				○		○				1		1	
		量子力学	2前		2			○			1						
		熱力学	2③		1			○			1						
		統計力学	2④		1			○			1						
		小計（6科目）	—	—	1	8	0	—	—		4	0	0	2	0	1	
	生物 学	生物学Ⅰ	1前		2			○			2	3		1			オムニバス オムニバス
		生物学Ⅱ	1後		2			○			2	3		1			
		小計（2科目）	—	—	0	4	0	—	—		4	6	0	2	0	0	
	情報	情報・データリテラシー概論	1前		2			○				1		1			オムニバス オムニバス、地 域創生Tech Programのみ オムニバス
		先端情報工学概論	3④		2			○			1					1	
		AI・データサイエンスⅠ	1③		1			○			2						
		小計（3科目）	—	—	3	2	0	—	—		3	1	0	1	0	1	
	そ の 他	インターンシップA	3前		1					○	1						
		インターンシップB	3前		2					○	1						
		小計（2科目）	—	—	0	3	0	—	—		2	0	0	0	0	0	

	複合材料	繊維科学概論	3③			1		○				1				地域創生Tech Programのみ
		複合材料科学	3③			2		○				1				地域創生Tech Programのみ
		先端複合材料学	3④			2		○				1				地域創生Tech Programのみ
		複合材料基礎実験	3③			1			○			1				地域創生Tech Programのみ
		複合材料ものづくり実験	4①			1			○			1				地域創生Tech Programのみ
		小計（5科目）	—	—	0	7	0	—	—	—	0	5	0	0	0	0
課程専門科目		プログラミングⅠ	1後		2			○				1				
		プログラミングⅡ	2前		2			○			2					オムニバス
		データ構造とアルゴリズム	2後		2			○			2					オムニバス
		システム最適化	3前		2			○				1				
		論理設計	2前		2			○			1					
		コンピュータシステム	2後		2			○			1					
		オペレーティングシステム	3後		2			○				1				
		ソフトウェア工学	2前		2			○			1	1				オムニバス
		組み込みシステム設計論	2後		2			○				1				
		データベースⅠ	3①・③		1			○			1	1				クラス分け、オムニバス
		データベースⅡ	3②・④		1			○			1	1				クラス分け、オムニバス
		コンパイラ	3前		2			○			1					
		プログラミング言語論	3後		2			○			1					
		ヒューマンインタフェース	2後		2			○			2					オムニバス
		AI・データサイエンス基礎	3前		2			○			2					オムニバス
		AI・データサイエンス応用	3後		2			○			2					オムニバス
		人間情報学基礎	1④		1			○			1	1				オムニバス
		離散数学	1後		2			○							1	
		情報理論	2前		2			○			2					オムニバス
		情報セキュリティ	2後		2			○			2					オムニバス
		情報ネットワーク	3前		2			○			2	1				オムニバス
		システム論	1③		1			○				1				
		複雑システム概論Ⅰ	2③		1			○				1				
		複雑システム概論Ⅱ	2④		1			○				1				
		デジタル信号処理	2前		2			○			1	1				オムニバス
		画像工学	3前		2			○			1	1				オムニバス
		エレクトロニクス	2後		2			○				1				
		デジタル電子回路	2後		2			○			1				1	オムニバス
		プロジェクト実習Ⅰ	3前		2				○		9	9		4	2	共同
		プロジェクト実習Ⅱ	3後		2				○		9	9		4	2	共同
		プロジェクト実習Ⅲ	1後		2				○		9	9		4	2	共同
		ソフトウェア演習Ⅰ	2前		2				○		2	1				オムニバス
		ソフトウェア演習Ⅱ	2後		2				○		2	1		1		オムニバス
		情報システムプログラミングⅠ	2③		1		○		○		1			1	1	オムニバス
		情報システムプログラミングⅡ	2④		1		○		○		1			1	1	オムニバス
		ネットワークプログラミングⅠ	3①		1		○		○		2					オムニバス
		ネットワークプログラミングⅡ	3②		1		○		○		2					オムニバス
		言語処理プログラミング	3後		2		○		○		1					
		卒業研究	4前・後		8						9	9		4		※卒業研究等
		小計（39科目）	—	—	28	46	0	—	—	—	74	53	0	19	0	10
（地域創生キャンパス開講科目）		地域創生課題セミナーⅠ	3後		2			○			2	2				共同、地域創生Tech Programのみ
		地域創生課題セミナーⅡ	4①			2		○			1	2				共同、地域創生Tech Programのみ
		ものづくりインターンシップⅠ	3後		4				○		1	1			1	共同、地域創生Tech Programのみ
		ものづくりインターンシップⅡ	4②		1				○		1	2				共同、地域創生Tech Programのみ
		卒業プロジェクト	4前・後		8						10	10		4		※卒業研究等、地域創生Tech Programのみ
		小計（5科目）	—	—	14	3	0	—	—	—	15	17	0	4	0	1
合計（科目）			—	—	59	413	0	—	—	—	233	153	3	54	2	191
学位又は称号		学士（工学）			学位又は学科の分野					工学分野						

卒 業 ・ 修 了 要 件 及 び 履 修 方 法	授業期間等	
- 卒業認定に必要な単位数 ①一般プログラム134単位以上 - 全学共通科目から32単位以上 - うち、英語教育科目8単位、基盤教養科目6単位以上、実践教養科目10単位以上、高年次配当科目2単位以上 - 専門教育科目から92単位以上 - 専門導入科目の必修から4単位以上 - 専門基礎科目から24単位以上 - うち、必修4単位以上、選択必修10単位以上 - 課程専門科目のうち、必修20単位以上、選択必修24単位以上、卒業研究8単位 ②地域創生Tech Program134単位以上 - 全学共通科目から32単位以上 - うち、英語教育科目8単位、基盤教養科目6単位以上、実践教養科目10単位（内、リーダーシップと経営戦略より4単位以上）以上、高年次配当科目2単位以上 - 専門教育科目から92単位以上 - 専門導入科目の必修から5単位以上 - 専門基礎科目から24単位以上 - うち、必修4単位以上、選択必修10単位以上 - 課程専門科目のうち、必修18単位以上、選択必修26単位以上、卒業プロジェクト8単位 - 卒業研究又は卒業プロジェクト履修のために必要な単位数 ①一般プログラム114単位以上 - 全学共通科目から26単位以上 - うち、英語教育科目8単位、基盤教養科目4単位以上、実践教養科目8単位以上 - 専門教育科目から72単位以上 - 専門導入科目の必修から4単位以上 - 専門基礎科目から20単位以上 - うち、必修4単位以上、選択必修8単位以上 - 課程専門科目のうち、必修20単位以上、選択必修20単位以上 ②地域創生Tech Program114単位以上 - 全学共通科目から28単位以上 - うち、英語教育科目8単位、基盤教養科目4単位以上、実践教養科目10単位（内、リーダーシップと経営戦略より4単位以上）以上 - 専門教育科目から72単位以上 - 専門導入科目の必修から5単位以上 - 専門基礎科目から20単位以上 - うち、必修4単位以上、選択必修8単位以上 - 課程専門科目のうち、必修18単位以上、選択必修22単位以上 - 福知山キャンパス開講科目履修のために必要な単位数（地域創生Tech Programのみ）108単位以上 - 全学共通科目から28単位以上 - うち、英語教育科目8単位、基盤教養科目4単位以上、実践教養科目10単位（内、リーダーシップと経営戦略より4単位以上）以上 - 専門教育科目から66単位以上 - 専門導入科目の必修から5単位以上 - 専門基礎科目から20単位以上 - うち、必修4単位以上、選択必修8単位以上 - 課程専門科目のうち、必修12単位以上、選択必修22単位以上	1 学年の学期区分	2 期又は4 期
	1 学期の授業期間	1 5 週又は8 週
	1 時限の授業の標準時間	9 0 分

--	--

(注)

- 1 学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には，授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。
- 2 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合，大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は，この書類を作成する必要はない。
- 3 開設する授業科目に応じて，適宜科目区分の枠を設けること。
- 4 「主要授業科目」の欄は，授業科目が主要授業科目に該当する場合，欄に「○」を記入すること。なお，高等専門学校の学科を設置する場合は，「主要授業科目」の欄に記入せず，斜線を引くこと。
- 5 「単位数」の欄は，各授業科目について，「必修」，「選択」，「自由」のうち，該当する履修区分に単位数を記入すること。
- 6 「授業形態」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。
- 7 「授業形態」の欄は，各授業科目について，該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし，専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち，臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を，連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
- 8 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員等」は，大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は，「専任教員等」と読み替えること。
- 9 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員（助手を除く）」は，大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は，「専任教員以外の教員（助手を除く）」と読み替えること。
- 10 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し，若しくは変更する場合は，次により記入すること。
 - （１）各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には，当該専門職大学の全課程に係る科目数，「単位数」及び「基幹教員等の配置」に加え，前期課程に係る科目数，「単位数」及び「基幹教員等の配置」を併記すること。
 - （２）「学位又は称号」の欄には，当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え，当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
 - （３）「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には，当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え，前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。
- 11 高等専門学校の学科を設置する場合は，高等専門学校設置基準第17条第4項の規定により計算することのできる授業科目については，備考欄に「☆」を記入すること。